

令和2年度事業報告

<概要説明>

1 会議等

定時総会及び理事会（4回のうち2回）について、新型コロナウイルス感染（以下「感染」と略記します。）状況を踏まえ、必要事項を書面にてお諮りをしたところいずれも全員の同意をいただき、法令及び定款に基づき決議したものとみなされることとなりました。

2 事業

その他の諸会議、式典の相当数は中止もしくはweb開催となりました。

主たる事業である各種技能講習は、感染拡大により年度当初の約2カ月間ほぼ全面的に中止しました。その後、可能な限りの感染防止対策を講じたうえで順次再開した以降は、感染防止対策の一環として定員を縮減（当初は受講者間距離2m、その後会場定員の2分の1以下等で実施）したにもかかわらず、年度受講者総数は7,197名となり、対前年度比で1,277名、15%の減少にとどめることができました。

要因としては、中止期間中の受講希望者の流入と法令改正によって資格必要業務が拡大したことがあると思われまます。

技能講習以外の事業である講習会、セミナー、大会等については、感染状況と必要性を比較衡量したうえで相当数のものを中止としました。

3 第79回全国産業安全衛生大会

前年度から準備を進めていた第79回全国産業安全衛生大会 in 札幌は、感染状況を踏まえ、大会実行委員長である当連合会長と中央労働災害防止協会理事長の電話会談を経て、現地開催は中止となりましたが、当大会に向けて提出のあった研究発表等は同大会の研究発表集として刊行及びweb公開されました。

I 会議等

1 定時総会（書面開催）

日 時 令和2年6月18日

※但し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58条第1項の規定に基づき書面により会員の同意を求め、令和2年度定時総会の決議があったものとみなされた日)

決 議 全ての会員（29）から提案事項に同意する旨の文書を受理
提案事項 第1号 令和元年度事業報告の件について

第 2 号 令和元年度収支決算の件について
第 3 号 役員を選任（改選）決議の件について
報告事項 令和 2 年度事業計画について
令和 2 年度収支予算について
令和 2 年度第 79 回全国産業安全衛生大会について
以上、3 議案、3 報告について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 58 条第 1 項により原案どおり承認された。

2 理事会

(1) 第 1 回理事会（書面開催）

日 時 令和 2 年 6 月 1 0 日

※但し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 96 条（第 197 条において準用する第 96 条）及び定款第 32 条の規定により、理事会の決議があったものとみなされた日

決 議 全ての理事(7)から提案事項に同意する旨の文書を受理
全ての監事(2)から提案事項を確認した旨の文書を受理
議 案 第 1 号 令和元年度事業報告
第 2 号 令和元年度収支決算報告
第 3 号 役員を選任（改選）
第 4 号 当面の事業運営(COVID-19 関連)について
第 5 号 令和 2 年度事業計画の補正について
第 6 号 令和 2 年度収支予算の補正について
第 7 号 令和 2 年度定時総会決議省略(書面開催)について
第 8 号 令和 2 年度定時総会提案事項
第 9 号 全国産業安全衛生大会引当資産取崩金の用途について
第 10 号 常勤役員のと令和 2 年度 6 月期賞与の削減について

報告事項 会員の退会について

以上、10 議案、1 報告事項について原案どおり承認された。

(2) 第 2 回理事会（書面開催）

日 時 令和 2 年 6 月 2 4 日

※但し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 96 条（第 197 条において準用する第 96 条）及び定款第 32 条の規定により、理事会の決議があったものとみなされた日

決 議 全ての理事(7)から提案事項に同意する旨の文書を受理
全ての監事(2)から提案事項を確認した旨の文書を受理

議 案 氏家和彦理事を代表理事に選定し、会長とする件。
佐藤尚理事を業務執行理事に選定し、専務理事とする件。

(3) 令和2年度第3回(相当)理事会

日 時 令和2年11月12日 午後1時30分

会 場 京王プラザホテル札幌

出席理事 6名

出席監事 2名

議 案 第1号 令和2年度上半期事業実施状況について

第2号 令和2年度上半期収支状況について

報告事項 (1) 代表理事、業務執行理事職務執行状況報告

(2) 新型コロナウイルス感染症問題を踏まえた今後の対応
方針及び見通し

(3) その他(今後の主な予定)

以上、2議案、3報告事項について原案どおり承認された。

(4) 令和2年度第4回(相当)理事会

日 時 令和3年3月19日 午前11時00分

会 場 京王プラザホテル札幌

出席理事 6名

出席監事 2名

議 案 第1号 令和2年度下半期事業報告について

第2号 令和2年度収支(見込み)について

第3号 令和3年度事業計画(案)について

第4号 令和3年度収支予算(案)について

第5号 資金調達及び設備投資の見込みについて

第6号 新たな公益目的事業(建築物石綿含有建材調査者
講習)の実施について

第7号 令和3年度常勤役員年間報酬及び報酬月額
決定について

第8号 令和3年度定時総会の開催について

報告事項 (1) 代表理事・業務執行理事職務遂行状況報告

(2) 北海道労働局登録講習業務監査結果

(3) 報告事項3 職員の採用について

以上、8議案、3報告事項について原案どおり承認された。

3 事業監査

日 時 令和2年5月22日 午後1時30分から

会 場 札幌国際ビル8階「C会議室」

監査項目 令和元年度事業報告

令和元年度決算書類
預金残高証明書
監査結果 指摘・特記事項なし

4 その他の会議等

- (1) 令和2年度全道支部長会議（兼 地区労働基準協会事務局長会議）
2月15日の開催を計画していたが、開催を中止した。
これに代えて、各支部へ周知すべき事項（北海道労働局登録教習機関業務監査結果と要改善事項ほか）、共有すべき情報などに関する資料の送付、支部からの質疑・要望への対応などを書面により行った。
- (2) 北海道労働局関係
例年開催されていた安全衛生関係団体等連絡会議、安全衛生表彰式は、感染拡大防止のため中止となり、行政及び団体が用意した資料の配付のみとなった。
- (3) (公社) 全国労働基準関係団体連合会関係（以下「全基連」と表記）
令和2年度通常総会は感染拡大防止のため書面開催となった。全国支部事務局長会議も同様の理由で中止となった。また、通常理事会・ブロック代表者会議は、令和3年3月24日のWeb会議1回のみとなった。
- (4) 中央労働災害防止協会関係
令和2年度通常総会は、東京都の感染状況を鑑み主催者意向を踏まえて欠席とし、書面で議決権を行使した。
また、札幌での開催が計画されていた令和2年度北海道・東北ブロック労働基準協会(連合会)連絡会議は、同様の理由から中止となった。
- (5) その他
第79回全国産業安全衛生大会について、感染症の状況を踏まえ5月18日に中止が決定されたことから、8月に開催を予定していた第2回実行委員会を中止した。
- (6) その他
・令和元年度北海道産業保健総合支援センター運営協議会
令和2年2月15日（欠席）

II 事業

1 安全衛生教育事業

- (1) 概況
北海道労働局長登録講習である労働安全衛生法に基づく技能講習等については、感染拡大に伴い令和2年2月20日以降、漸次、感染防止対策

措置実施・選択的開催中止・全面開催中止等の措置をとり、令和2年度も引き続いて一部を除き中止としていたが、6月から感染防止等措置が困難な一部講習（酸欠・硫化）を除き受講者定員を縮小して再開した。

その後、酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習のうち実技講習における感染防止対応手法を策定のうえ、7月から全面再開した。

実施した講習等の種類別回数、受講者数は次のとおりであるが、第1四半期の開催中止及び再開後の定員縮小により、対前年度比較で受講者数は▲1,277名(15.1%減)となった。

(2) 内部監査

感染症問題を踏まえ、今年度は実施を見送った。

令和2年度技能講習等実施状況（4月～3月）

講習名	実施回数		受講者数	
	元年度	2年度	元年度	2年度
フォークリフト運転	34	24	817	613
小型移動式クレーン運転	13	12	248	227
床上操作式クレーン運転	3	1	102	20
玉掛け	26	26	831	797
ガス溶接	9	11	244	294
プレス機械作業主任者	3	3	78	47
乾燥設備作業主任者	4	4	170	106
有機溶剤作業主任者	20	22	1,252	1,014
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者(特例)	10	2	498	120
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	31	24	1,885	1,241
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者	13	25	832	1,303
石綿作業主任者	6	10	492	502
鉛作業主任者	2	2	86	70
安全衛生推進者・衛生推進者養成	15	15	843	745
衛生管理者試験準備(登録講習対象外)	1	3	96	98
合計	216	184	8,474	7,197

2 労働条件改善対策の推進

近時のパワーハラスメント対策義務、同一労働同一賃金ガイドライン、子の看護休暇・介護休暇の取得単位等に関する制定・変更等が順次施行されることを踏まえて、これらを各地区労働基準協会が開催する労務管理実務講習会での主テーマとした北海道労働局又は労働基準監督署職員による説明等の調整を行ったが、感染症問題などから開催が全て見送った。

全基連北海道支部として「大学生・高校生等を対象とした労働条件セミナー

一事業」におけるセミナーを4校で開催した。

全基連本部が開催した「外国人技能実習制度関係者養成講習」（札幌市、旭川市、帯広市で延べ24回）の実施に協力し、「個別紛争解決研修（基礎）」、「最高裁判決を踏まえ同一労働同一賃金を考える有料セミナー」の広報・募集に協力した。

また、（公社）東京労働基準協会連合会が受託した「外国人安全衛生管理支援事業（外国人共生センター事業）」の一部再委託を受けた全基連北海道支部として「外国人労働者安全衛生管理セミナー」の開催に協力した。

（参考）セミナー等実施状況

講習・研修等名称	実施主体	回数	開催場所	備考	(参考)元年度
衛生管理者等セミナー	北基連	1	札幌	衛生管理者協議会等共催	1
個別紛争解決研修(基礎研修)	全基連	2	Web	厚生労働省委託事業	1

講習・研修等名称	実施主体	回数	開催場所	備考	(参考)元年度
同一労働同一賃金の最高裁5判決を水町教授が読み解く緊急セミナー	全基連	1	Web開催		(新規)
外国人技能実習制度関係者養成講習(監理責任者等講習)	全基連	3	札幌、旭川		1
外国人技能実習制度関係者養成講習(技能実習責任者講習)	全基連	7	札幌、旭川、帯広、		5
外国人技能実習制度関係者養成講習(技能実習指導員講習)	全基連	7	札幌、旭川、帯広、		5
外国人技能実習制度関係者養成講習(生活指導員講習)	全基連	7	札幌、旭川、帯広、		5
大学生・高校生等を対象とした労働条件セミナー	支部	4	道内4高等学校	厚生労働省委託事業	9

「実施主体」略語 北基連：(公社)北海道労働基準協会連合会
全基連：(公社)全国労働基準関係団体連合会
支部：(公社)全国労働基準関係団体連合会

北海道支部

※ 令和元年度に実施した「①受動喫煙防止セミナー、②労務管理講習会、③管理監督者研修、④介護事業場のための労務管理セミナー、⑤個別紛争解決研修(応用研修)、⑥働き方改革関連法等読み解きセミナー」は、令和2年度は実施していない。

3 労働災害防止対策・労働衛生対策の推進

労働安全衛生について、労基ニュース掲載、ホームページ掲出、機会をとらえての資料同封送付等による周知に努めた。

北海道衛生管理者協議会ほかとの共催により、札幌市において衛生管理者等セミナーを開催した。

4 第79回全国産業安全衛生大会

第79回全国産業安全衛生大会は令和2年10月に札幌市において開催されることとなっていたが、感染拡大を踏まえ4月22日の中災防理事長と当会会長との電話会談を経て、中災防の理事会において令和2年5月18日に中止が決定された。

これを受けて、中災防と連携のうえ当会HP、ほっかいどう労基ニュース、文書等により関係機関・団体・大会実行委員会メンバーなどの関係者、会員事業場・一般企業に対して大会の中止を周知した。

なお、第79回全国産業安全衛生大会（in 札幌）名は残すこと、募集済の研究発表については研究発表資料集として作成され、中災防HP特設サイトに掲載・公開された。あわせて作成された冊子版を研究発表者及び実行委員会メンバー等を含む関係者に発送・配布した。

5 収益事業

登録技能講習等の教材として受講者に講習用テキストを販売した。

販売部数は累計7,366部（前年度7,402部）となった。

6 中小企業無災害記録証

本年度は地区労働基準協会経由ほかで申請のあった6件について、中央労働災害防止協会に進達し、その全てに中小企業無災害記録証が授与された。

Ⅲ 広報

1 会報「ほっかいどう労基ニュース」

隔月に実施する北海道労働局広報会議において行政の動向を把握し、これを踏まえて編集するとともに内容の充実に努めた。

刊行物は会員及び関係機関等へ配布したほか、関係会議、セミナー等で適宜配布するなどして地区協会入会勧誘の資料としても活用した。

2 ホームページ

講習日程、大会・セミナー等の告知、関係行政機関からの周知要請等について随時更新して広報に努めた。